

1 調査方針等

1.1 調査目的

本調査は、第五管区海上保安本部の委託を受け、潮岬沖における船舶交通の整流化を図り、安全性を向上させるため、バーチャル AIS 航路標識を活用した効果的な船舶交通の整流方法を検討することを目的とした。

1.2 調査の背景等

海上保安庁では、準ふくそう海域（東京湾湾口～石廊崎～伊勢湾湾口～潮岬沖～室戸岬沖～足摺岬沖の各海域を経て瀬戸内海に至る海域）における安全対策の構築について、検討が進められてきた。また、(公社)日本海難防止協会（以下、「日海防」という。）においても、日本財団の助成を受け、調査研究委員会を開催し、安全対策の構築に関する調査研究を実施してきた。

平成 25 年 9 月に伊豆大島西方海域において内航貨物船と外航貨物船との衝突・転覆により乗員 6 名が亡くなる海難が発生したことを契機として、それまでの研究の成果等を踏まえて、平成 27 年度に、日海防が「伊豆大島西方海域における安全対策の構築に関する調査研究」を実施し、伊豆大島西岸沖に推薦航路を設定することにより、交通流が分離され、当該海域を航行する船舶の衝突の危険性の減少効果が得られるとの結論が得られた。

この結果を受け、海上保安庁は国際海事機関（IMO）に海上人命安全条約（SOLAS 条約）に基づく推薦航路設置の提案を行い、平成 29 年 6 月 第 98 回海上安全委員会（MSC98）にて採択され、平成 30 年 1 月 1 日から伊豆大島西岸沖で推薦航路が運用されているところである。

平成 30 年 4 月、第 4 次交通ビジョンに、伊豆大島西岸に引き続き、潮岬沖、大王埼沖の整流化対策の検討を行うことが明記され、今般、潮岬沖における船舶交通の安全対策を構築するため、平成 27 年の調査研究で確認された研究手法に基づき、これまで海上保安庁と海上技術安全研究所との共同研究により得られた海上交通流シミュレーションによる定量評価や航行環境の情報を用いて、潮岬における効果的な船舶交通の整流化対策を検討することとしたものである。

1.3 調査名

「潮岬沖における安全対策の構築に関する調査研究」とした。

1.4 調査方法

1.4.1 委員会の設置

学識経験者、海事関係者及び関係官公庁職員等からなる「潮岬沖における安全対策の構築に関する調査研究委員会」を設置し、検討資料に基づき検討した。

＜潮岬沖における安全対策の構築に関する調査研究＞

1.4.2 委員会等の構成

委員会の構成は以下のとおり。

(順不同)

(※海防研常任調査研究委員)

委 員	今 津 隼 馬	東京海洋大学名誉教授
〃	山 田 多津人	海上保安大学校教授
〃	若 林 伸 和	神戸大学教授※
〃	遠 藤 小百合	海技大学校准教授※
〃	岡 秀 行	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所海洋リスク評価系長
〃	奥 田 啓 介	外国船舶協会 Operation Committee 委員
〃	竹 林 哲 哉	(一社)日本船主協会海務部副部長
〃	河 口 功	日本内航海運組合総連合会
〃	森 木 正 文	近畿旅客船協会事務局長
〃	葛 西 弘 樹	(一社)日本船長協会会長
〃	浦 隆 幸	全日本海員組合関西地方支部支部長
〃	土 肥 康 保	外国船舶代理店業協会事務理事・事務局長
〃	貴 家 誠	全国漁業協同組合連合会漁政部部長代理
〃	松 本 冬 樹	(一社)大日本水産会事業部調査役
〃	宮 田 稚 之	和歌山県漁業協同組合連合会事務局長

以上 15 名

関係官公庁	重 入 義 治	近畿運輸局海上安全環境部部長
〃	井 口 好 晴	和歌山県農林水産部水産局長
〃	川 越 功 一	海上保安庁交通部航行安全課航行指導室長
〃	星 崎 隆	田辺海上保安部長
〃	亀 田 進	串本海上保安署長

以上 5 名

オブザーバー	山 本 一	(公社)日本海難防止協会海上交通研究部長
--------	-------	----------------------

以上 1 名

委 託 者 第五管区海上保安本部交通部

関 係 者 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

事 務 局 公益社団法人 神戸海難防止研究会

1.5 調査項目

- (1) 航行環境の現状について
- (2) 航行環境を踏まえた整流化方策案の検討について
- (3) 整流化方策案の総合評価

1.6 調査条件

- (1) 調査期間は、原則として令和元年10月28日から令和2年3月25日までとした。
- (2) 原則として、委員会2回を神戸市において開催することとした。

1.7 委員会の開催日程等

委員会の開催日程等は、原則として次のとおりとした。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会				◎	◎		
報告書							◎

1.8 委員会の検討事項

1.8.1 第1回委員会

- (1) 調査方針
- (2) 潮岬沖の航行環境
- (3) 船舶交通整流化の既往調査の背景と概要
- (4) 航行環境を踏まえた整流化方策の検討
 - ① 航行環境を踏まえた整流化方策案の検討
 - ② 整流化方策案の検討のためのシミュレーション設定
- (5) 整流化方策案の総合的な定量評価

1.8.2 第2回委員会

- (1) 整流化方策案の総合評価
- (2) 報告書構成

1.9 調査の流れ

調査の流れは、図 1.9.1 の調査フロー図のとおり。

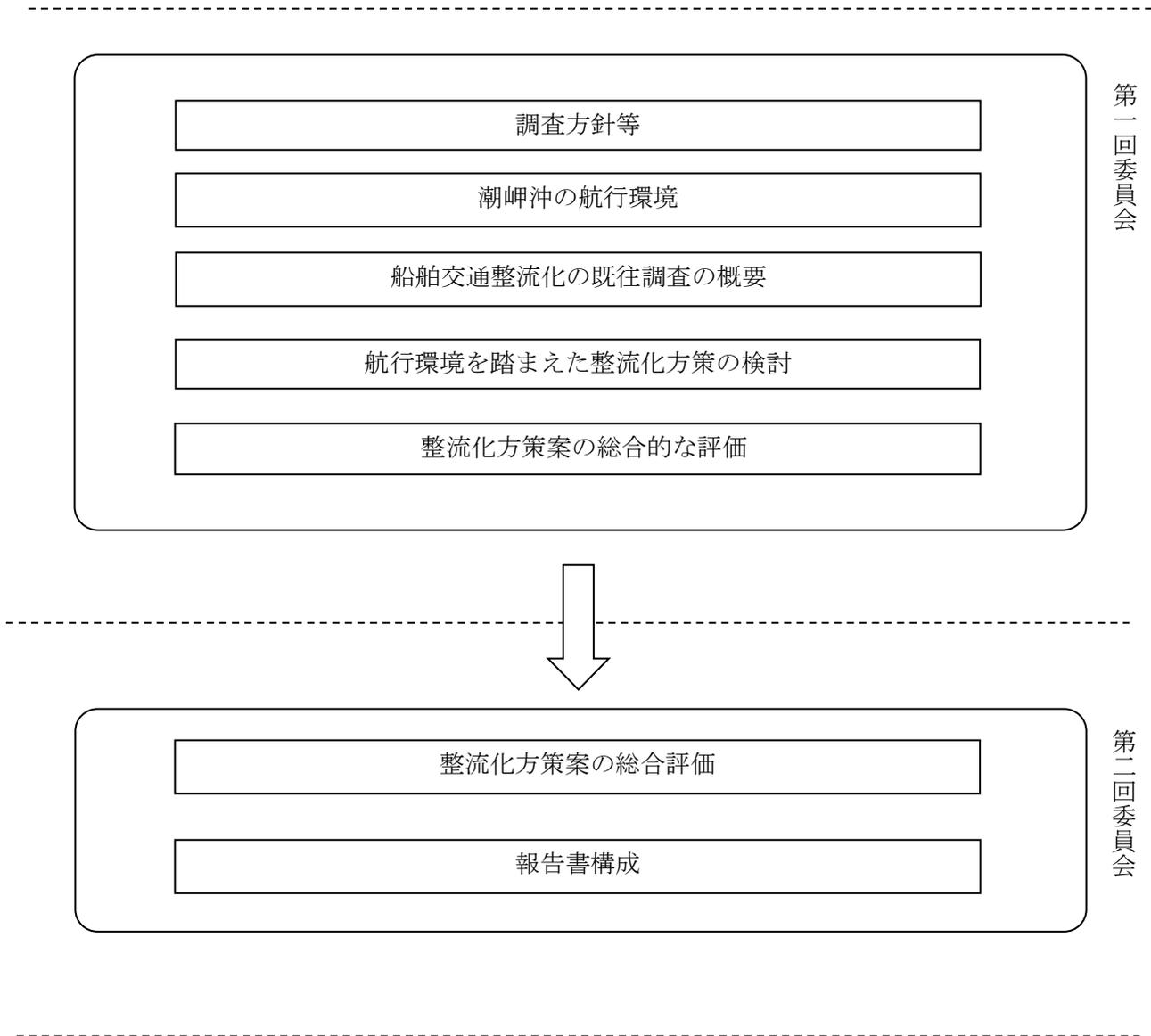


図 1.9.1 調査フロー図

1.10 委員会等の開催・審議経過

1.10.1 第1回委員会

1. 日 時 令和元年12月9日(月) 13:00~16:15
2. 場 所 神戸ポートタワーホテル 5階 パールの間
3. 出席者 巻末の第1回委員会議事概要に添付の出席者名簿のとおり。

4. 議 題

- (1) 調査方針等について
- (2) 潮岬沖の航行環境について
- (3) 船舶交通整流化の既往調査の背景と概要について
- (4) 航行環境を踏まえた整流化方策案の検討について
- (5) 整流化方策案の総合的な評価について

5. 検討資料

資 料

- (1) 検討資料委1-1 調査方針(案)
- (2) 検討資料委1-2 潮岬沖の航行環境(案)
- (3) 検討資料委1-3 船舶交通整流化の既往調査の背景と概要(案)
- (4) 航行環境を踏まえた整流化方策案の検討(案)
 - ① 検討資料委1-4-1 航行環境を踏まえた整流化方策案の検討(案)
 - ② 検討資料委1-4-2 整流化方策案の検討のためのシミュレーション設定(案)
- (5) 整流化方策案の総合的な評価(案)

席上配布

- (1) 検討資料委1-2 P5 差替え
- (2) 検討資料委1-2 P23 差替え
- (3) 検討資料委1-2 P24 差替え
- (4) 検討資料委1-4-2 P37 差替え

6. 審議結果

巻末の第1回委員会議事概要のとおり。

1.10.2 第2回委員会

1. 日 時 令和2年1月28日(火) 13:30~14:35
2. 場 所 神戸ポートタワーホテル 5階 パールの間
3. 出席者 巻末の第2回委員会議事概要に添付の出席者名簿のとおり。

<潮岬沖における安全対策の構築に関する調査研究>

4. 議 題

- (1) 第1回委員会議事概要について
- (2) 第1回委員会資料の修正について
- (3) 整流化方策案の総合評価について
- (4) 報告書構成(案)について

5. 検討資料

資 料

- (1) 検討資料委2-1 第1回委員会議事概要(案)
- (2) 検討資料委2-2 第1回委員会(案)資料の修正について
- (3) 検討資料委2-3 整流化方策案の総合評価(案)
- (4) 検討資料委2-4 報告書構成(案)

席上配布

席上配布資料委2-1 検討資料委2-3 P1 差替え

6. 審議結果

巻末の第2回委員会議事概要のとおり。